

沿革

- 明治6年 啓行小学校が設置
- 明治7年 酒門小学校と改名
- 明治22年 「酒門」「谷田」「石川」「若宮」をあわせて「酒門村」とする
酒門小学校を「酒門尋常小学校」と改める
- 明治25年 創立記念日を制定
- 明治31年 酒門尋常小学校（酒門1053）より現在地（酒門1445）に移転
- 明治36年 酒門尋常小学校に高等科を設置し、「酒門尋常高等小学校」となる
- 昭和16年 東茨城郡酒門尋常高等小学校は、「東茨城郡酒門国民学校」となる
- 昭和22年 東茨城郡酒門国民学校は、「東茨城郡酒門村立酒門小学校」となる。高等科を廃止し、本校内に「東茨城郡酒門村立酒門中学校」が創設される
- 昭和30年 酒門村が水戸市に合併
東茨城郡酒門村立酒門小学校は、「水戸市立酒門小学校」となる
- 昭和37年 校歌を制定
- 昭和44年 防音校舎が完成
- 昭和47年 屋内運動場完成
創立80周年記念式典を挙げる
- 昭和52年 本プール完成（サブプール付き）
- 昭和62年 新体育館完成
- 平成4年 創立100周年記念式典を挙げる
- 平成11年 特別教室棟が完成
- 平成15年 吹奏楽コンクール東関東大会出場
- 平成16年 吹奏楽コンクール東関東大会出場
- 平成24年 読書感想文全国コンクール学校賞を受賞
- 平成25年 創立120周年集会
- 平成26年 科学技術分野の文部科学大臣表彰
創意工夫育成功労学校賞受賞
体育館の耐震化が完成
- 平成27年 県体力づくり奨励賞受賞
- 平成29年 吹奏楽コンクール東関東大会出場
- 平成30年 吹奏楽コンクール東関東大会銀賞受賞
日本管楽合奏コンテスト全国大会ヤマハ賞受賞
TBSコンクール東日本大会出場
- 令和2年 本館長寿命化改良工事開始
- 令和3年 吹奏楽コンクール東関東大会金賞受賞
- 令和4年 本館長寿命化改良工事完了
- 令和5年 吹奏楽コンクール東関東大会銅賞受賞

児童数

782名

(令和6年5月1日現在)

学年	1	2	3	4	5	6	合計
男子	75	74	67	63	61	60	400
女子	66	63	72	57	59	65	382
合計	141	137	139	120	120	125	782



令和6年度 水戸市立酒門小学校 グランドデザイン

豊かに 高く 正しく

学校教育目標

人間性豊かな 心身共にたくましい児童の育成を図る

めざす子どもの姿

☆よく考え すすんで勉強する子 ☆礼儀正しく 思いやりのある子
☆たくましい心をもつ じょうぶな子

水戸市の教育

知性にとみ、心身ともに健全な風格をそなえた人間（水戸人）の形成につとめる

茨城県教育の目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性を培う
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる

組織目標 自分（たち）で計画し、実践する場をつくる

～もっとJプロジェクト～ 所属感と達成感を全員に！

- よりよい学校生活について自ら考え、協力して取り組むことで、学校生活を自らの力でよりよいものにする。
- 目標達成にむけて考え、決めたことに取り組むことで、自分を高める。

〈重点とおもな施策〉

- 確かな学力の向上
 - ・互いの思いや考え方、感じ方等を交流する機会の充実
 - ・ICT 機器を有効に活用し、多角的に学ぶことのできる学習指導の充実
- 豊かな心と健やかな体の育成
 - ・様々な活動や行事を成長の機会に
 - ・自ら考え、行動することのできる場の設定
- 安全・安心な学校づくり
 - ・心の居場所となる支持的な学年学級づくり
 - ・様々な事案に対する適切な初期対応
- 教職員の同僚性の向上と人材育成の推進
 - ・教職員間のコミュニケーションの促進
 - ・校務分掌等の職務や役割によるOJTの実践

〈グループ目標〉

- （低学年部）当番活動や学習での話し合い活動を通して自己有用感を育てる。
- （中学年部）主体的に活動する学年実行委員の推進と協働的に学ぶ児童の育成を図る。
- （高学年部）実行委員会・委員会活動を推進し、自分の考えを整理して発信する場を設定する。
- （特別支援部）いちよう学級・さくら学級合同の異年齢集団での活動を通して、児童が自分たちで計画し、達成感を味わうことができる場を意図的に設定する。
- （教務部）各部の目標を共有し、「～もっとJプロジェクト～」を実践するための全員参加と活動成果の見える化を図る。

第四中学校区（第四中・吉田小・吉沢小）

保護者・地域

酒門小学校の教育活動



金管バンド部



いじめをやめようワークショップ



七面焼体験



アスリーチ事業